

平成23年3月期 会社説明会

平成23年6月8日

 **カンダホールディングス株式会社**

■ 経営理念

- 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。
- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、お客様と共に繁栄します。
- 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。

目次

■ カンダグループの概要

会社概要・事業概要	1
会社沿革	2
カンダグループの構成	3
カンダグループの主要な営業拠点	4

■ 平成23年3月期決算の概要

営業収益・営業利益の推移	5
経常利益・当期純利益の推移	6
取扱品目別営業収益の構成	7
連結財務指標	8
連結貸借対照表	9
連結キャッシュフロー計算書	10
配当金及び配当性向の推移	11

■ 経営計画

第Ⅲ次4ヵ年計画 計数目標	12
事業戦略	13
国際物流事業への取組み	17
CSR (Corporate Social Responsibility)	20
安全への取組み	21



カンダグループの概要

商号	カンダホールディングス株式会社
所在地	東京都千代田区三崎町3-2-4
創業	昭和18年11月
代表者	代表取締役社長 勝又一俊
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数(連結)	1,877名(平成23年3月末日現在)
グループ会社	19社



平成23年:国際宅配部門の事業譲受により

「株式会社ペガサスグローバルエクスプレス」業務開始

平成22年:群馬県に「北関東物流センター」竣工

平成21年:持株会社体制へ移行

商号を「カンダホールディングス株式会社」に変更

平成16年:東京証券取引所市場第二部へ株式上場

価値ある物流を未来へ

平成6年:日本証券業協会に株式を店頭登録

平成3年:カンダコーポレーション(株)へ社名変更

運送業から物流業へ

昭和46年:大手量販店の専用物流センター稼動 一括配送業務開始

昭和38年:出版物共配開始

当社の呼びかけで全国への出版物流を共同配送化し実施。

昭和20年代:定期路線網の構築

「神田便」の名称で定期便を運行、路線事業開始

昭和19年:神田運送(株)設立

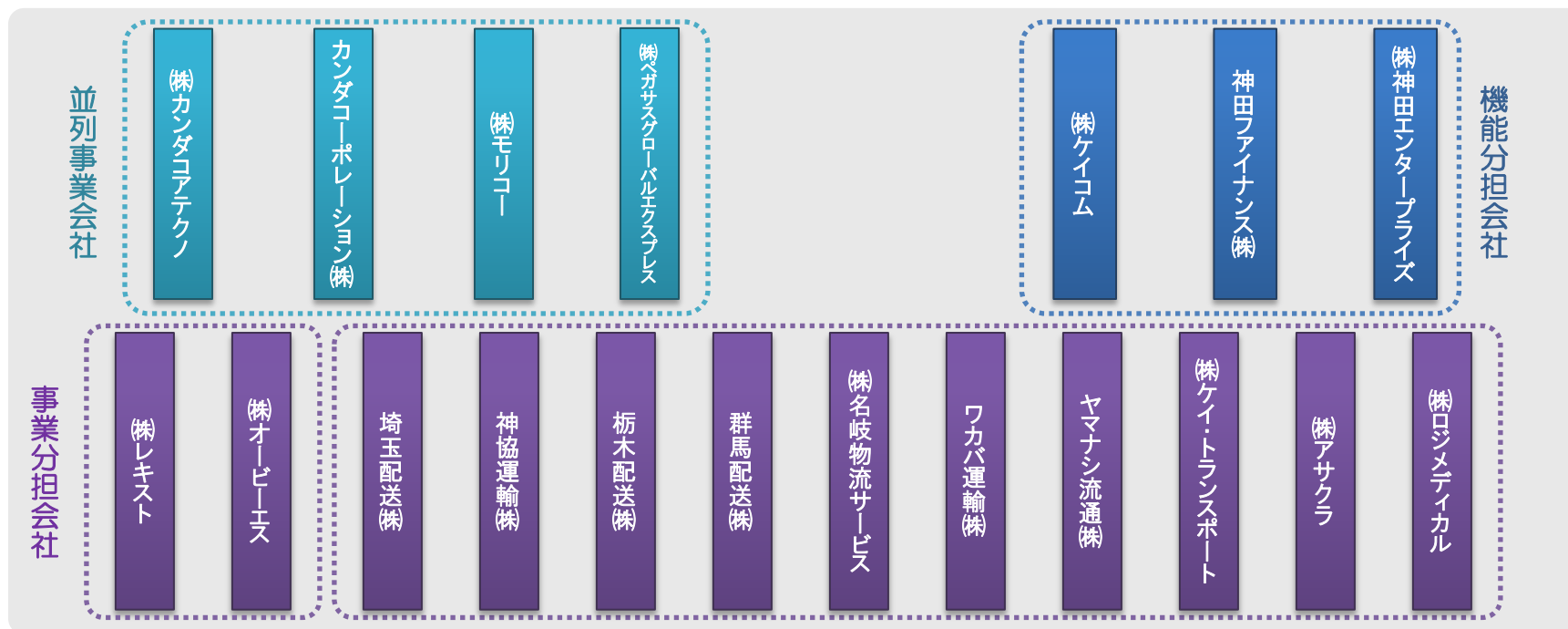
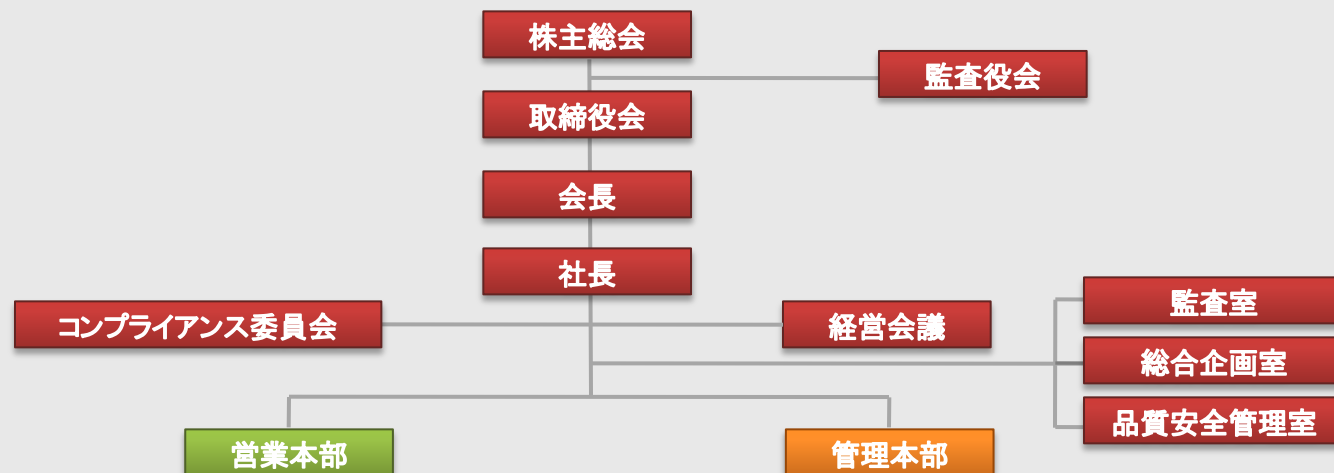
神田運送株式会社設立。本社:東京都神田区佐久間町 資本金:230万円

昭和18年:発足

自動車交通事業法により東京都神田区内の全運送会社16社が一括統合され発足する。



カンダホールディングス株式会社



東京

(千代田区) 西神田営業所
(江東区) 有明営業所
辰巳営業所
(北区) 浮間物流センター
(西多摩郡) 多摩センター

千葉

(浦安市) 東京センター
(習志野市) 習志野物流センター
(東金市) 東金センター

東北地区

宮城

(仙台市) 東北物流センター
中部地区

愛知

(小牧市) 小牧営業所



(浮間物流センター)



(岩槻物流センター)



(蓮田物流センター)

埼玉

(さいたま市) 岩槻物流センター
(所沢市) 所沢センター
(熊谷市) 熊谷営業所
(戸田市) ロジテクノセンター
引越総合センター
(吉川市) 吉川東部センター
(蓮田市) 蓮田物流センター
(加須市) 埼玉営業所
加須花崎営業所
大利根センター

関西地区

大阪

(堺市) 大阪営業所
大阪第二営業所
(東大阪市) 東大阪営業所
(門真市) 大阪物流センター (※)



(邑楽営業所)



(加須花崎営業所)

群馬

(高崎市) 高崎営業所
高崎第二センター
(伊勢崎市) 伊勢崎営業所
(館林市) 館林営業所
(太田市) 太田営業所
(邑楽郡) 邑楽営業所
北関東物流センター (※)

栃木

(足利市) 足利営業所
(小山市) 小山協同センター
(鹿沼市) 宇都宮営業所

CS営業部

東京CSセンター
北関東CSセンター
関西CSセンター
東海CSセンター

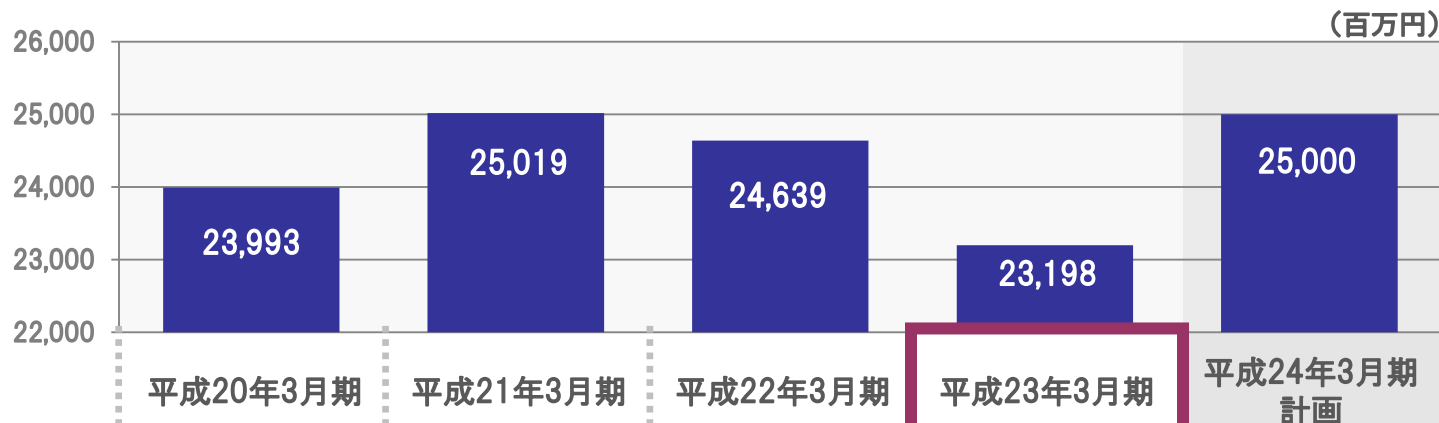
(※) 新設事業所



(北関東物流センター)

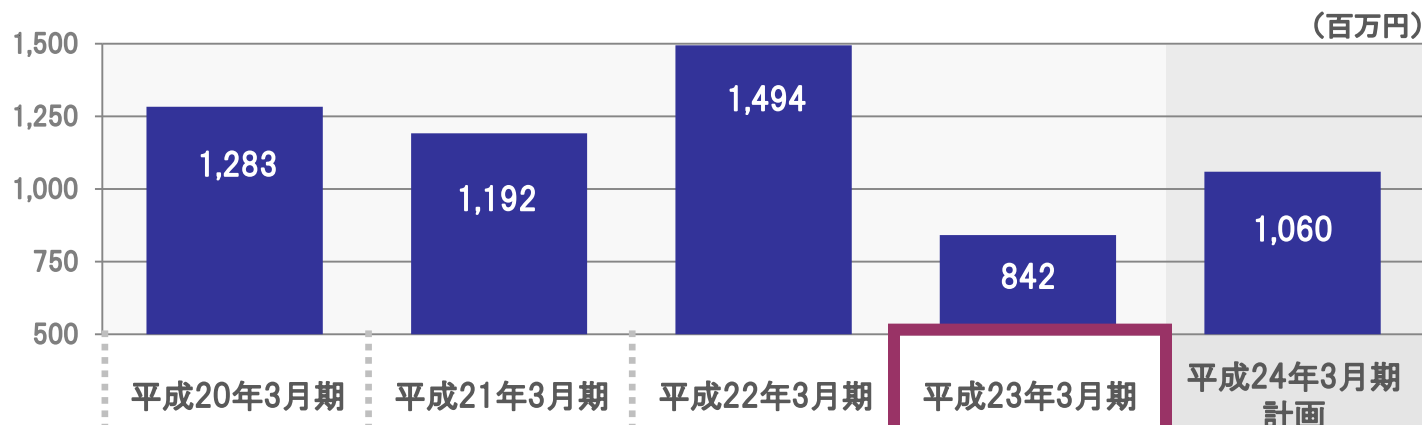
平成23年3月期決算の概要

■ 営業収益



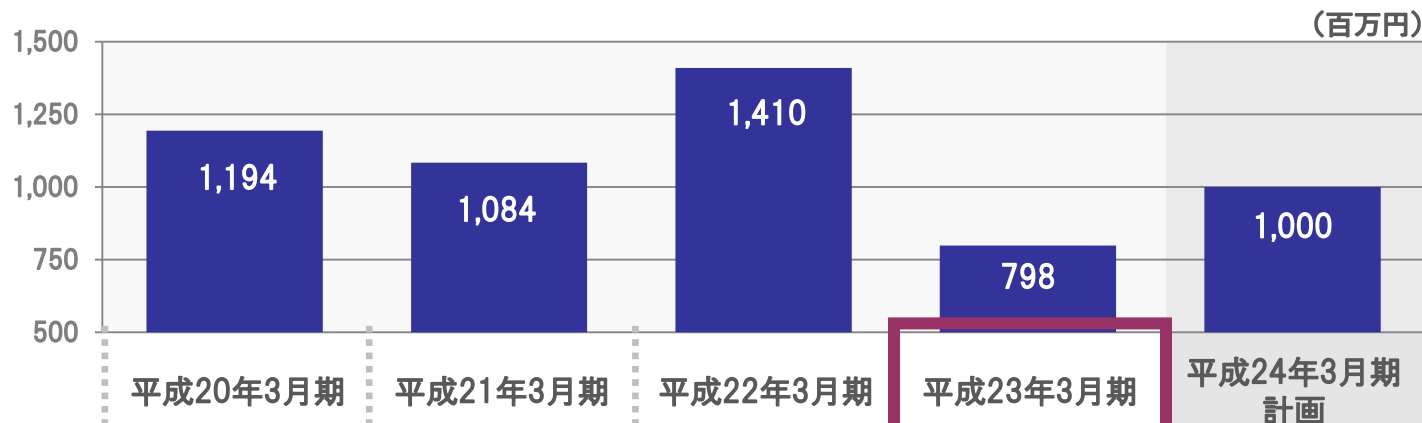
連結	営業収益	23,993	25,019	24,639	23,198	25,000
	前期比	△2.6%	4.3%	△1.5%	△5.8%	7.8%

■ 営業利益



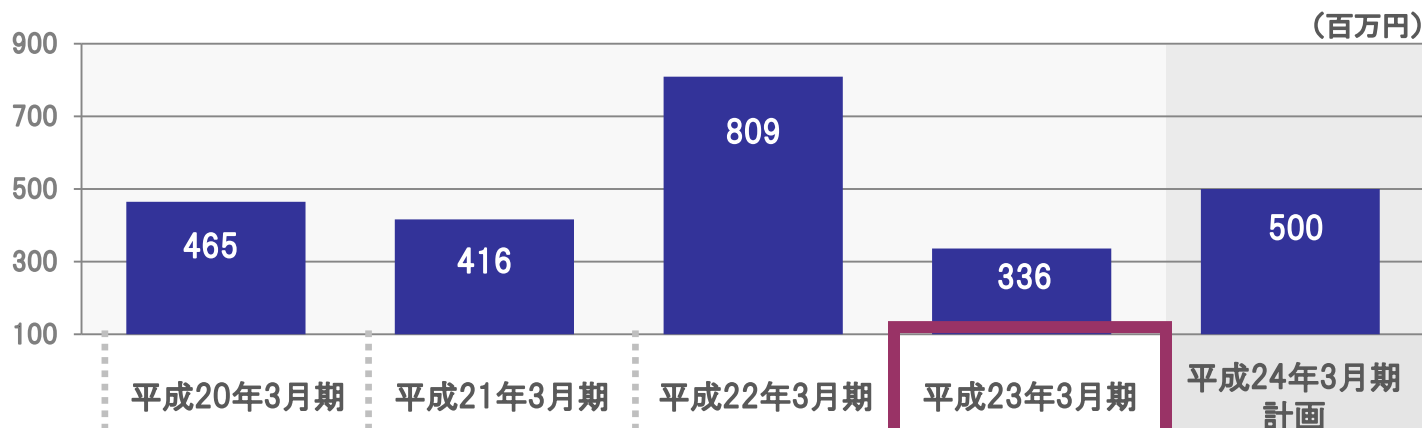
連結	営業利益	1,283	1,192	1,494	842	1,060
	前期比	13.7%	△7.1%	25.3%	△43.6%	25.7%

■ 経常利益



連結	経常利益	1,194	1,084	1,410	798	1,000
	前期比	15.4%	△9.2%	30.1%	△43.4%	25.3%

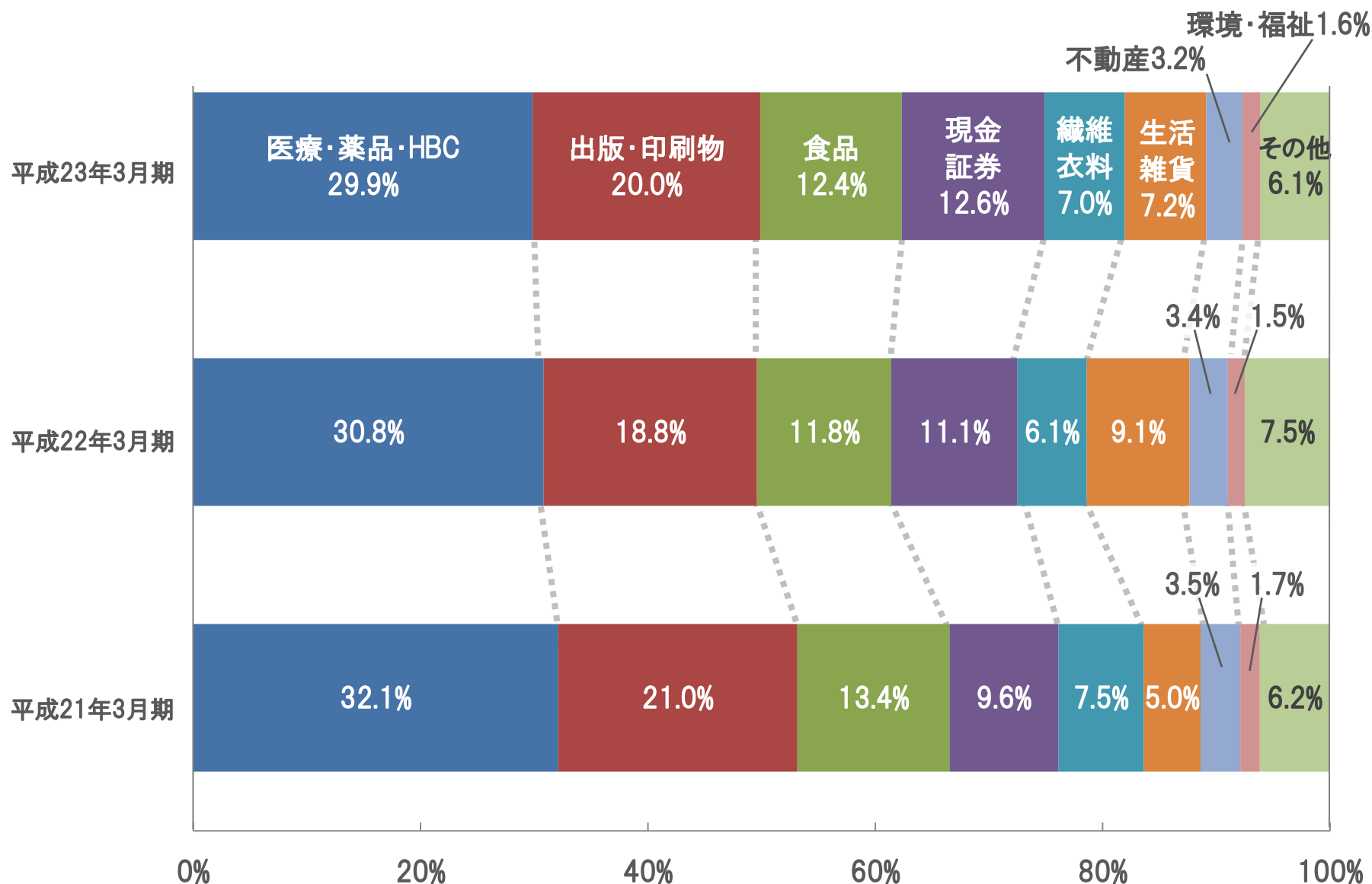
■ 当期純利益



連結	当期純利益	465	416	809	336	500
	前期比	△6.4%	△10.4%	94.3%	△58.5%	48.6%

取扱品目別営業収益の構成

7

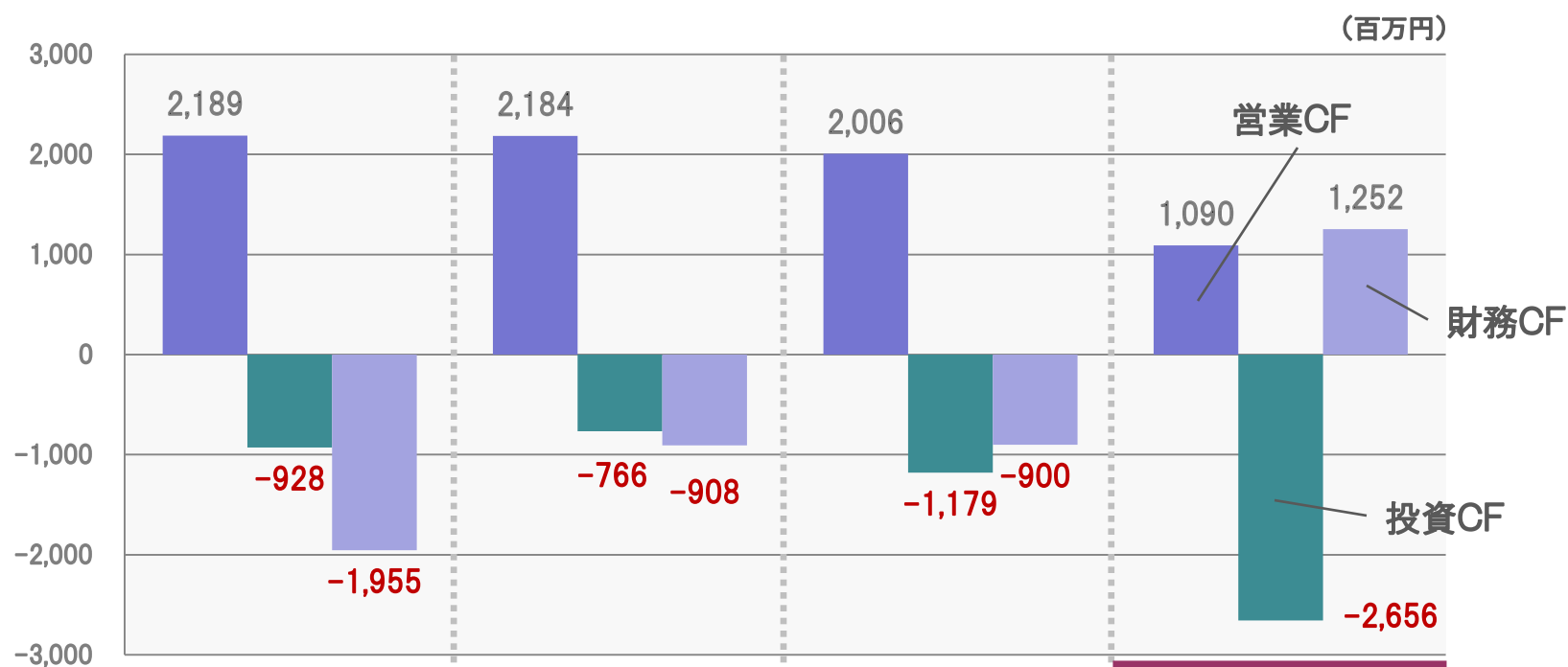


	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
総資産 (百万円)	28,989	28,492	28,833	30,287
純資産 (百万円)	10,339	10,493	11,089	11,328
1株あたり純資産 (円)	919.98	941.71	1,024.15	1,044.67
1株あたり当期純利益 (円)	41.26	37.52	74.89	31.25
自己資本比率 (%)	35.5	36.6	38.2	37.1
自己資本利益率(ROE) (%)	4.5	4.0	7.5	3.0
総資産経常利益率 (%)	4.0	3.8	4.9	2.7
売上高営業利益率 (%)	5.3	4.8	6.1	3.6
売上高経常利益率 (%)	4.9	4.3	5.7	3.4
負債資本倍率(DEレシオ) (倍)	1.1	1.0	0.9	1.0
有利子負債 (百万円)	11,546	10,790	10,125	11,515
債務償還年数	5.3年	4.9年	5.0年	10.6年



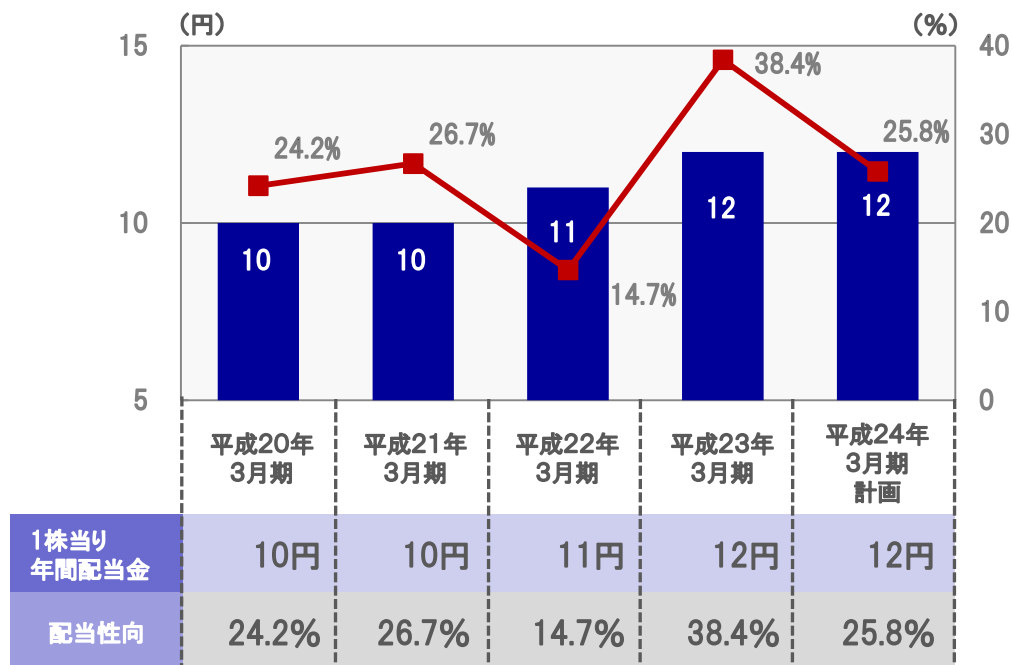
(百万円)

		平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
	流動資産	6,851	7,299	7,673	7,436
	固定資産	22,137	21,193	21,159	22,851
	資産合計	28,989	28,492	28,833	30,287
	流動負債	11,643	12,787	12,312	13,848
	固定負債	7,006	5,211	5,431	5,111
	負債合計	18,650	17,998	17,743	18,959
純資産合計		10,339	10,493	11,089	11,328
負債・純資産の合計		28,989	28,492	28,833	30,287

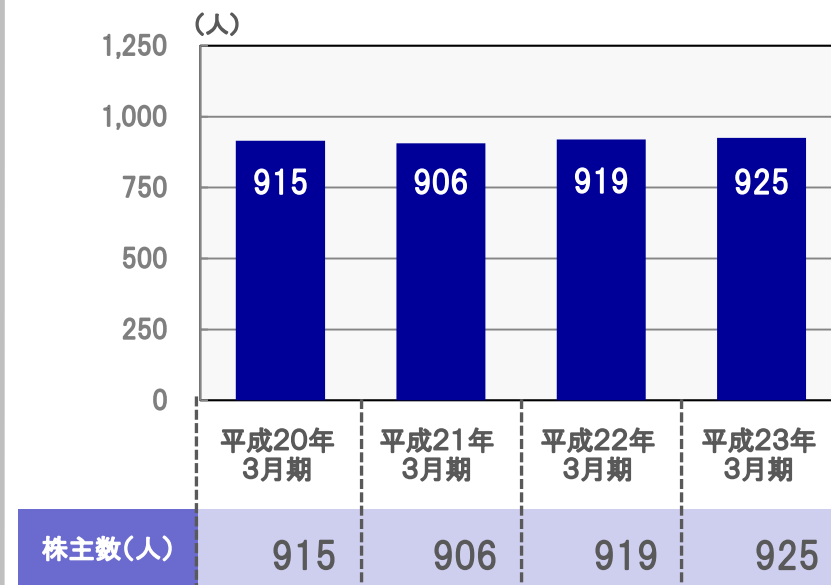


	平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
営業CF	2,189	2,184	2,006	1,090
投資CF	△928	△766	△1,179	△2,656
財務CF	△1,955	△908	△900	1,252

■ 配当の状況



■ 株主数の推移



■ 自己株式取得状況

平成23年3月末までの間に1,468株の自己株式取得を実施、平成23年3月末時点の自己株式は890,214株(総発行株式に占める割合:7.64%)となっております。

■ 株主優待制度

株主優待制度として図書カードを進呈しております。

保有株式数	枚数
1,000株以上	1枚
3,000株以上	2枚
5,000株以上	3枚

経営計画

－ 進捗状況と今後の取組み －

■ 計数目標

		初年度 平成22年3月期	第2年度 平成23年3月期	第3年度 平成24年3月期	最終年度 平成25年3月期
売上高 (百万円)	計画値	25,230	26,970	28,600	30,000
	実績	24,639	23,198	(※)25,000	－
経常利益 (百万円)	計画値	1,210	1,325	1,515	1,650
	実績	1,410	798	(※)1,000	－
売上高経常利益率 (%)	計画値	4.4%	5.8%	5.3%	5.5%
	実績	5.7%	3.4%	(※)4.0%	－
D/Eレシオ (有利子負債/自己資本)	計画値	－	－		1未満
	実績	0.92	1.03		－
自己資本比率 (%)	計画値	－	－		40%以上
	実績	38.2%	37.1%		－

(※)平成24年3月期の実績数値は現時点での予想数値となっております。

■ 平成23年度 経営方針

【スローガン】

グループを挙げて、V字回復を！

～ 未来を見据え、果敢に挑戦しよう ～

【基本方針】

1. 営業力を強化し、積極的な業容拡大を図る。
2. 赤字の営業所、グループ会社を黒字化する。
3. 交通事故、労災事故、物損事故、クレームを半減させる。

■ カンダコーポレーショングループ

■ トランスネット営業部

<進捗状況>

- ・ 北関東地区において面配送(共同配送)の充実を図るため、新規顧客の獲得をいたしました。
- ・ 関西地区において、大手取次様より出版物の物流センター業務を受託いたしました。

<今後の取組み>

- ・ 北関東地区及び首都圏地区において営業所及びグループ会社の戦略的統合、再編を進めます。
- ・ 北関東地区及び中京地区における出版物輸配送業務のエリア拡大を図ります。
- ・ 関東・中部・関西の三大都市における商業貨物の輸配送ネットワークの拡充を図ります。

■ 3PL 営業部

<進捗状況>

- ・ 北関東物流センターにて新規顧客を獲得し業務を開始いたしました。
- ・ 通販の新規業務を受託いたしました。

<今後の取組み>

- ・ 総合ロジスティクス提案を行い、3温度帯物流サービスの構築と提供を行います。
- ・ 関東・東北エリアの新規開拓に注力し、将来の柱となる業務獲得を図ります。
- ・ 北関東物流センターの新規顧客獲得を図ります。

■ カンダコーポレーショングループ

■ LS営業部

<進捗状況>

- ・ 既存小売顧客と取引関係にある複数の卸・メーカーとの共同物流センター業務を新規受託いたしました。
- ・ 物流EDIにおける情報処理・加工に関する新規事業をKDC(カンダデータセンター)にて開始いたしました。

<今後の取組み>

- ・ ドラッグストア業界を得意先に有する同業他社との提携により、全国配送ネットワークの構築を進めます。
- ・ LS営業部の一部とグループ会社である(株)ロジメディカルを統合させ、新規事業会社の設立を計画いたします。

■ CS営業部

<進捗状況>

- ・ 大手外食産業及び大手ドラッグストアチェーンの業務を新規受託いたしました。
- ・ 現在の顧客店舗数は1都2府16県 約5,600店舗となっております。

<今後の取組み>

- ・ 首都圏・中京圏・関西圏を重点営業地区として、新拠点設置を視野に入れた拡販を行います。
- ・ アライアンスによるネットワークの拡充、新サービス・新商品の開発を推進いたします。

■ カンダコアテクノグループ

<進捗状況>

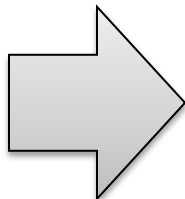
- ・ 東日本大震災時に東北方面へ大型車310台分の緊急物資輸送をいたしました。
- ・ 大手調剤薬局様の機密文書保管管理業務を一括受託いたしました。
- ・ 医薬品メーカーの輸配送業務を受託いたしました。
- ・ 複数の医療機器メーカーの在庫管理業務を受託いたしました。
- ・ 顧客サポート事業において既存顧客の業務シェアを拡大いたしました。
- ・ 営業力の強化として、専任営業マンの増員をいたしました。

<今後の取組み>

- ・ 医薬品関連の物流センター業務請負のシェア拡大、東日本を中心とした医薬品物流ネットワークの強化を図ります。
- ・ 食品関連の共同配送事業に取り組みをいたします。
- ・ 医薬品関連のメーカー物流を強化いたします。
- ・ M&Aによるネットワーク強化を検討いたします。

■ 国際物流事業への進出

- ・ 国際物流事業の基盤
- ・ 国際宅配事業の市場優位性
- ・ 既存顧客を活かしたシナジ-効果



Pegasus Global Express Co., Ltd.

平成22年9月：(株)ペガサスパーセルサービスと事業譲受契約
(株)ペガサスグローバルエクスプレス設立)
平成23年2月：(株)ペガサスグローバルエクスプレス 事業開始

■ (株)ペガサスグローバルエクスプレス 会社概要

設 立：平成22年9月(創業:昭和59年2月)
資 本 金：2億3,000万円
本 社：東京都江東区新木場1-8-11
事 業 所：大阪、浜松、名古屋
事 業 内 容：国際宅配便／国際航空・海上貨物取扱業
従 業 員：53名(平成23年5月末現在)

■ (株)ペガサスグローバルエクスプレス 事業概要

<国際宅配便事業>

- ・ 安定収益部門：大手国際宅配事業者のネットワークを活用した輸出・輸入宅配商品販売

<国際ロジスティクス事業>

- ・ 業容拡大部門：航空・海上貨物フォワーディング、国際ロジスティクス事業、BUY-SELL案件取り組み

■ 国際宅配便事業の強化

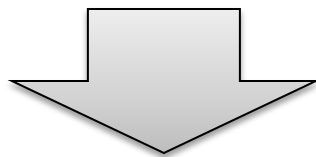
- ・ カンダグループ顧客を対象とした国際宅配潜在需要を掘り起こす共同営業を継続いたします。
- ・ ペガサス社地方セールス強化及び浜松・大阪・名古屋に次ぐ新拠点展開を検討いたします。

■ 国際フォワーディング事業への進出

- ・ IATA代理店・利用運送事業認可取得による国際フォワーディング事業への本格的参入をいたします。
- ・ 海外代理店との提携を推進し、グローバルネットワークの整備を行います。
(予定地区：米国／中国／香港／台湾／タイ／ベトナム／マレーシア等)
- ・ カンダグループ既存顧客の需要を反映した国際物流案件の開拓をいたします。

■ 国際ロジスティクス部を活用した業容拡大

- ・ カンダグループが強みとするトラック輸送・国内倉庫を活用したロジスティクスサービスを展開いたします。
- ・ 商社機能にフォワーディングを付加したBUY－SELL案件に取り組みます。(商流・物流の一括管理)
- ・ ペガサス社提携先の海外倉庫を利用した3国間輸送、対日輸送及び海外物流拠点設置への取り組みを開始いたします。



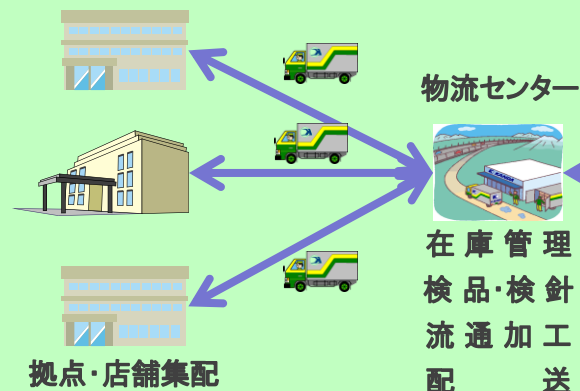
平成25年度末 売上高50億円へ拡大

グローバル3PL事業の展開を加速

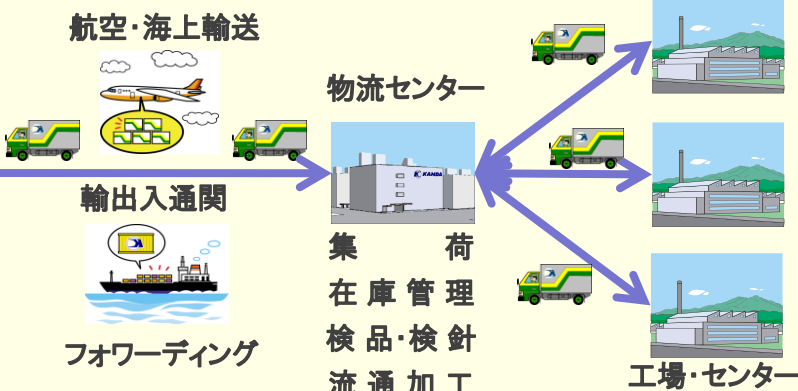
国際物流事業への業容拡大

【事業領域の拡大】

■国内物流

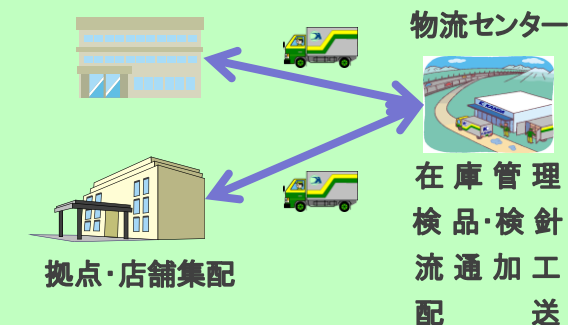


■海外物流



【従来の事業領域】

■国内物流



- カンダグループが強みとする
国内ロジスティクスサービス
- ペガサスグローバルエクスプレスの
フォワーディングサービス
- ペガサスグローバルエクスプレス
提携先の海外倉庫
- ペガサスグローバルエクスプレス
海外代理店ネットワーク

■ CSR活動

コンプライアンス

法令・倫理綱領・社会規範・会社諸規程等に基づく企業倫理を確立し、公正で誠実な経営を実践します。

■ 内部統制

- ・ 内部統制(会社法、J-SOX、各業法)を強化いたします。

■ 品質管理

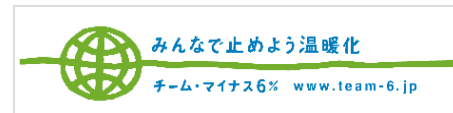
- ・ 全事業所を対象としたGマーク認定の取得を推進いたします。
- ・ 運輸安全マネジメントの実施を強化いたします。
- ・ セーフティアドバイザー制度の充実を図ります。
- ・ 運行管理自主点検と巡回指導の実施を強化いたします。
- ・ ダッシュ活動と5S運動を推進し、業務品質の向上を図ります。

■ 環境対策

- ・ 改正省エネ法による特定輸送業者として対応を強化いたします。
- ・ グリーン経営の認証取得を推進し、環境CSRを強化いたします。
- ・ エコドライブ運動の実施強化をいたします。
- ・ 天然ガス自動車(NGV)、低燃費車両の導入を促進いたします。
- ・ クールビズ実施期間を5月10日～10月31日まで拡大。

■ 各種認証

- ・ ISO27001 : カンダホールディングス(株)、カンダコーポレーション(株)本社、(株)カンダコアテクノ本社、西神田営業所、浮間物流センター、(株)神田エンタープライズ、神田ファイナンス(株)、(株)ケイ・コム ※CS営業部4センターにて新規取得予定
- ・ ISO14001 : (株)モリコー
- ・ ISO 9001 : (株)カンダコアテクノ埼玉営業所、(株)レキスト東京センター
- ・ Pマーク : (株)モリコー



■ カンダグループにおける運輸安全マネジメント

カンダグループでは「運輸安全マネジメント」を実施しております。
社長以下従業員全員が一丸となった安全管理体制の構築を進めております。

■ 平成23年度 安全管理方針

1. コンプライアンス遵守
2. 交通事故及び労働災害の防止
3. 輸送品質向上

安全と生命はすべてに優先する
「交通事故」や「労働災害」発生防止への取り組み

■ 平成23年度の取り組み

- ・ セーフティアドバイザーとの連携強化、職場の交通安全指導の定着と充実
- ・ 安全意識向上及び運転技術向上に向けた実車研修会の開催
- ・ 労災事故防止に向けた体験型研修と技術研修の開催
- ・ Gマーク認定の新規取得推進

■ 平成22年度までの取り組み

- ・ アルコール検知器使用義務化への対応実施済
- ・ Gマーク認定新規取得6事業所
- ・ エコドライブ実車研修の推進
- ・ セーフティアドバイザーを全事業所に配置完了。スキルアップ研修の実施
- ・ ストレス・マネジメント研修の実施
- ・ 安全補助装置及び機器の標準装備化の推進



当資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等の記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらしうることがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。



お問合せ先：カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話(03)-3265-1841(代) FAX(03)-3237-7385

ホームページ： <http://www.kanda-web.co.jp/>

e-mail： hd-soumu@kanda-web.co.jp